



家庭数 令和7年2月5日(水)

学校だより 第23号

校長 山下 恵子

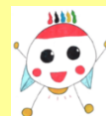
高槻だより

高槻小学校学校教育目標
「心豊かで 自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

高槻っ子スローガン



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざし

鬼は外 福は内・・・心の鬼をおいだすぞ。

2月2日、日曜日は節分でした。ご家庭でも「鬼は外、福は内」と掛け声をし、豆を投げて厄除けを行ったのではないのでしょうか。節分は雑節の一つで、各季節の始まりの日の前日のことです。通年、2月3日が節分ですが、今年度は地球が太陽の周りを1周する「公転周期」と、暦のずれにより、2月2日となりました。2021年も2日でしたが、その年は実に124年ぶりで、新聞では話題になりました。今後2月2日になる頻度が増えていくようです。

さて、2年生では、「心の鬼をやっつけよう」と、子どもたちが、ちこく鬼「給食すききらいする鬼」「おうちのお手伝いさぼり鬼」・・・などなど、自分の中にある悪い鬼を書き出しました。そして、「節分豆」にみたてた丸めた新聞紙を、鬼に投げつけ、元気に節分を楽しんでいました。他学級にも表れた鬼を、どの学年もびっくりしたり、楽しんだりしました。



給食には「節分豆」ができました。年の数だけ・・・とはいきませんでしたが、皆完食していました。



毎日マラソン週間

先週1月27日より、15分休みにマラソンを全校児童で行っています。保健体育委員会が、毎年提案して全校児童に「体力づくり」として、この時期マラソンを奨励しています。1年から3年生は運動場中枠の1周120M、4年生から6年生は運動場外枠の1周180Mを、約5分間走ります。「4周走りました。」「昨日より2周速くなりました。」と、毎日記録更新を伝えてくれる児童もいます。14日の金曜日まで続けます。自己記録に挑戦してほしいです。



和楽器の調べ・・・琴を奏でよう。—4年生音楽—

1月27日(月)に4年生は、音楽の学習で、和楽器の鑑賞や体験学習を行います。日頃なじみのない「琴」を、ぜひ演奏してみようということで、槻田中学校から「琴」を借りて、以前北九州市の養護教諭だった大橋先生(ご趣味で琴を弾かれます)に来校頂き、習いました。琴爪を着けて、「1234・・・」と、数字で表す楽譜を頼りに「さくらさくら」の曲を練習しました。はじめは、強さの加減がわからず、うまく音が出なかった子どもたちも、1時間習う中で、みるみる上達しました。2時限目には、自分たちで作曲もできました。大橋先生が、きちんと楽譜にしてくださるということで、楽しみです。



第3回 たてわり活動

1月22日(水)に第2回たてわり集会がありました。それぞれのグループで、鬼ごっこやハンカチ落とし、ジェスチャーゲームなど、リーダーの6年生が提案したゲームを楽しみました。3回目とあって、グループ間も随分仲良くなりました。たてわり活動の良いところは、異学年で協力し、助け合って、それぞれが良さを認め合えるところ

です。上級生が下級生の面倒をよく見ます。

特にリーダーの6年生は、

中心になって皆に声をかけ動いてくれます。



八幡東区自治総連合会 研修会に参加しました。

2月1日(土)に、響ホールにて「八幡東区自治総連合会 研修会」が行われました。鹿児島大学 金子 満先生の「みんなが元気になる新たなコミュニティ組織の再構築」をテーマに講演があり、その後、それぞれの地域の取り組みが紹介されました。コロナ禍を境に、「地域行事に参加が少なくなった。地域住人同士の関係が希薄になりつつある。」と言われているなかで、同じ目的をもって協働から響働への行事の見直しや皆が楽しめる地域社会の構築とはどのようにすればよいか。などのお話がありました。本地域の高槻・山路自治区の発表では、地域活動において「食」をテーマに、北九州大学生や高槻小学校保護者、まちづくり協議会がコラボした地域交流の取り組みが発表されました。地域の中で子どもは育っています。地域、保護者、学校が、より連携しながら子どもの見守りを行っていきたいと思いました。